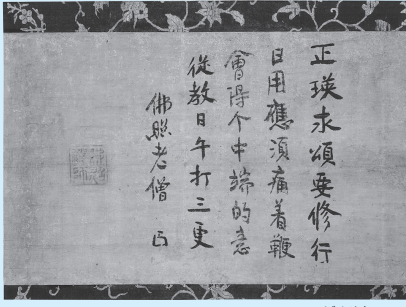


県内では初公開の名品も



忠興が徳川秀忠から拝領した墨蹟
拙庵徳光墨蹟（金波墨蹟）拙庵徳光筆
中国南宋時代（13世紀）鹿苑寺所蔵
国指定重要文化財



忠興がどうしても欲しかった茶入
唐物肩衝茶入 銘安国寺（中山肩衝）
中国南宋時代（13世紀）五島美術館所蔵

ものものふと茶の湯

市立博物館未来の森ミュージアム
令和元年度秋季特別展覧会 八代の歴史と文化29

利休から織部・忠興・康之へ

【特別講演会】

①「細川忠興・松井康之と茶の湯」

とき 10月27日(日) 午後2時～3時30分

ところ 博物館

講師 宮原 江梨（本館学芸員）

②「茶の湯のタイムカプセル 松井文庫コレクシヨン」

とき 11月9日(土) 午後2時～3時30分

ところ 博物館

講師 伊藤 嘉章 氏

（愛知県陶磁美術館総長）

※いずれも無料、先着80人

（事前申込み不要）



唐物尻彫茶入 銘利休尻ふくら
永青文庫所蔵

10/25(金)
12/1(日)

観覧料 一般 600円（480円）

高大生 400円（320円）

※（ ）内は20人以上の団体料金

※中学生以下・障がい者手帳を提示の人は

無料

※11/3(祝)は無料公開

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 10/28(月)・11/5(火)・11(月)・18(月)・25(月)

（ただし入館は午後4時30分まで）

問合せ 博物館 ☎ 345555

（事前申込み不要）

武将たちを熱狂させた茶の湯の名品、八代へ

武将が身につけるべき教養のひとつとして愛好された「茶の湯」。安土桃山時代には、茶の湯好きの天下人豊臣秀吉や、「侘び茶」の大成者千利休の活躍によって、武将たちの間で空前の「茶の湯ブーム」が巻き起こりました。

この時代に活躍した細川忠興と、その家老松井康之もまた、茶の湯に夢中になりました。細川忠興・松井康之は、千利休に師事して茶の湯を学び、利休のあと茶の湯をリードした古田織部とも厚い親交を結んでいたことが数々の資料から分かります。

この展覧会では、八代に関わりの深い2人の武将、細川忠興と松井康之の茶人としての姿を、ゆかりの名品からひも解きます。



肖像は上から千利休像（堺市博物館所蔵）、古田織部像（大阪城天守閣所蔵）、細川忠興（三斎）像（八代市立博物館所蔵）、松井康之像（松井文庫所蔵）